

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

2015年度事業計画

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2015年度事業方針

2015年度は11月13日から15日まで那覇市の沖縄県総合福祉センターにおいて節目となる第30回リハ工学カンファレンスを開催します。例年、このカンファレンス会期中に社員総会を開催していましたが、今回はカンファレンスが11月になったため、別途8月29日に社員総会を大阪で開催します。皆様のご参加をお願いいたします。また例年通り協会誌の発行を4回、福祉機器コンテスト2015を従前のスケジュールで実施いたします。10月7日から9日まで東京ビッグサイトで開催される国際福祉機器展に当協会のブースを出展し、来場者に協会の活動を広報し、さらにこの会期中に福祉機器コンテストの表彰式と受賞作品を展示します。

分科会活動としては昨年度からSIGの位置づけを明確化し、法人内SIGとなるための条件整備を進めていますが、すべてのSIGを協会の活動として財務的に統一することは非常に困難であるため、SIG会員が全員協会会員である一部のSIGから法人内SIGとして位置づけて活動していただきます。新たな支部としては東北支部の設立に向けて準備を進めているところです。第4回となる東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会は開催する予定で準備を進めているところです。

国際協力では今年度と同様に、徳島アグリーメントに基づく北米、EU、豪州に加え、アジア各国との連携強化に向けて、RESKO、i-CREATE等に本協会の代表を派遣する計画を立てています。

会長 繁成 剛

1. 事業

1-1. リハ工学カンファレンス関連（カンファレンス担当理事）

- 1) 第30回リハ工学カンファレンス in おきなわを開催する。
 - ・会期：2015（平成27）年11月13日（金）～15日（日）
 - ・会場：沖縄県総合福祉センター（沖縄県那覇市）
 - ・大会テーマ：技のちゃんぷる～ 御万人（うまんちゅ）を支えるテクノロジー
 - ・大会長：瀧下修一氏（沖縄リハビリテーション福祉学院 学院長）
 - ・実行委員長：金城知子氏（沖縄リハビリテーション福祉学院 作業療法学科長）
- 2) 第31回リハ工学カンファレンスの開催準備を高知市で行う。
 - ・実行委員会立ち上げのサポートを行う。
- 3) 第32回リハ工学カンファレンス開催準備を行う。
 - ・開催候補地および実行委員候補者等を検討する。

1-2. 福祉機器コンテスト関連（コンテスト担当理事）

- 1) 福祉機器コンテスト2015
 - ・第一次選考会 2015年7月11日（土） 応募作品の書類・ビデオ審査
於：横浜ラポール
 - ・第二次選考会 2015年9月6日（日）
機器開発部門：プレゼンテーション審査、学生部門：書類・ビデオ審査
於：南生協病院（名古屋市緑区）
 - ・発表、表彰：第42回国際福祉機器展H. C. R. 2015会場内 10月9日（金）
 - ・展示、広報（予定）：
第42回国際福祉機器展H. C. R. 2015 10月7日（水）～9日（金）（表彰式／受賞作品の実物展示）

第17回西日本国際福祉機器展P.P.C. 2015(北九州市) 10月29日(木)～31日(土)
(受賞作品の実物展示)
第30回リハ工学カンファレンス(沖縄) 11月13日(金)～15日(日) (受賞作品の実物展示)

2) 福祉機器コンテスト2016

特別協賛(予定): フランスベッド株式会社

協 賛(予定): 株式会社ケーブ、株式会社松本義肢製作所、株式会社今仙技術研究所、
株式会社モリトー、川村義肢株式会社、株式会社有菌製作所、日陶科学株式会社

後 援(予定): 厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団
法人日本作業療法士協会

- ・福祉機器コンテスト2016選考委員会の設置(2016年4月1日～)
- ・募集対象: 機器開発部門、学生部門
- ・広報開始・応募要綱配布: 4月中旬
- ・募集期間: 機器開発部門 5月～6月、学生部門 5月～7月
- ・展示、広報(予定): バリアフリー2016(大阪)展示会(広報) 4月
ウェルフェア2016(名古屋)展示会(広報) 5月

3) コンテスト発展のための取り組み

- ・コンテストの企画内容及び運営方法を見直す。
- ・広報活動はインターネットをより活用する事を検討する。

1-3. 協会誌関連(協会誌担当理事)

1) 以下の協会誌を発行予定

- ・vol. 30 No. 3 2015/8 特集「転ばぬ先のちえ」
- ・vol. 30 No. 4 2015/11 特集「未来の『パラリンピック』—Rio to Tokyo/2016～2020—」
- ・vol. 31 No. 1 2016/2 特集「諦念—私達のいきる道—(仮題)」
- ・vol. 31 No. 2 2016/5 特集「医療の現場からリハ工を考える(仮題)」

2) 編集委員会の開催

年4回、協会誌の発行に合わせて編集委員会を開催する。そのほか随時、インターネット上にて編集作業の進捗状況について情報交換を行う。

3) 査読体制

査読担当委員を中心に、投稿論文の査読者の確保、依頼等を行う。査読体制の改善、さらには査読規定の改正が必要と思われる場合には、担当者間で協議し、対処する。

1-4. 分科会・専門委員会関連(分科会・専門委員会担当理事)

1) 支部設置方針の見直し並びに規定整備

2015年度は、支部設置方針を見直して、設置申請方式から地域区割り方式に変更する。それにより、会員はいずれかの地域の支部に所属し、各地域でのリハ工学に関わる人的ネットワークを構築するために、新規支部の設置準備に向けた組織化と規定整備を行う。

2) SIGとの協力関係及び活動支援

2015年度は、法人内SIGのロールモデルとして、協会の正会員率が高く、すぐにも移行可能な4SIGについて、試行的に法人内SIGとして活動し、メリット、課題等の洗い出しを行う。

また、当法人が企画・参画・運営する事業(講習会やコンテスト、協会誌の査読など)実施に際して、積極的に法人外SIGの協力を仰ぎながら法人としての活動を活性化していきたい。そのような協力関係を維持し、さまざまな運営規模および運営方法である法人外SIGの活動と協働する。

3) 専門委員会

国際委員会（仮称）の設置：理事会のもとに、協会の国際連携等についてアドバイスを行う国際委員会（仮称）を置き、理事会を補佐する。

1-5. 企画推進事業（企画担当理事／事業統括理事）

協会の広報活動および会員獲得に向けた PR 活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催を行う。

1) 広報活動強化

以下の展示会へブースを設定し、広報活動を実施する。

- ・第 42 回国際福祉機器展(H. C. R. 2015)での広報（2015 年 10 月 7 日～10 月 9 日 於：東京ビッグサイト（東京））
- ・バリアフリー2016（2016 年 4 月 於：インテックス大阪（大阪））
- ・その他各地域で行われている福祉機器展（第 17 回西日本国際福祉機器展、第 14 回高知福祉機器展など、支部や SIG との協力を積極的に進める）への出展・協力を行う。同時に、その他の地域の福祉機器展への参加の可能性について検討及び地域支部等との連携の可能性の検討を行う。
- ・展示会広報用のパネルフレームのリプレースを行う。

2) セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。

- ・第 42 回国際福祉機器展（H. C. R. 2015）（東京）での出展社ワークショップや車いすトレーニングイベント（子ども広場を利用）の企画・開催。
- ・第 17 回西日本国際福祉機器展（P. P. C. 2015）（北九州）でのセミナーの企画・開催。九州・沖縄・山口支部と調整・協力を得た上で実施予定。
- ・バリアフリー2016（大阪）でのワークショップを企画・開催。関西支部と調整・協力の上、実施。
- ・頸髄損傷者連絡会との第 5 回合同シンポジウムの企画・開催。

3) 東日本大震災復興支援活動としての講習会開催

今年度も東日本大震災復興支援活動としての講習会を開催したい。東北被災地域において必要とされる講習会やセミナーを各 SIG の協力を仰ぎながら企画し、リハビリテーション工学の啓発、技術伝承を行い、東北を元気にする活動を行う。

- ・SIG 単独の講習会・セミナー
 - ・数 SIG 合同のワークショップ・セミナー
- 対象は専門職向けやリハ工学に興味のある方向けなど。開催候補地は未定。

4) その他

- ・車椅子使用者が航空機を利用するに当たって、輸送中に車椅子が破損するという問題がある。そこで航空会社職員向けに講習会を企画している。
- ・30 周年記念事業の準備を行う。

1-6. 国際関連事業（国際担当理事）

- ・RESKO、TREATS との MOA 締結に伴い、リハ工学カンファレンスへ各国学会より代表を招聘する。
- ・RESJA 英語公式書類の英語専門家による Review を行う。
- ・アジア各国との連携強化に向けて、RESKO、i-CREATE 等のカンファレンスへ RESJA 代表を派遣する。

2. 総務

2-1. 規則・選挙関連（規則・選挙担当理事）

- ・各種規程を整備し、改定を必要に応じて行う。

2-2. 財務（財務担当理事）

- ・財務管理体制について再度検討しながら、財務管理を遂行する。
- ・年度をまたぐカンファレンス事業とコンテスト事業の他、同様の予算執行となる事業について検討する。

2-3. 総会・理事会等会議の開催、他（総会・理事会担当理事）

協会運営に必要な以下の会議・事業を行う。

1) 2015 年度定時社員総会を開催する

- ・日時：2015(平成 27)年 8 月 29 日（土） 時間：14：00～15：00
- ・場所：グランフロント大阪（神戸芸術工科大学サテライトオフィス）

2) 2015 年度理事会を開催する。

7 月、8 月(社員総会開催日)、11 月、その他 2 回実施する予定である。

2-4. 広報・渉外（広報・渉外担当理事）

- ・一般社団法人となり協会の活動体制も変わってきているので、当今の協会に併せたリーフレット改訂を行う。新リーフレットの運用開始を、10 月の H.C.R. 2015 を目標に進める。
- ・海外向けアニュアルレポート（年鑑）を、英語版広報案内として英語版協会リーフレットの作成に変更する。
- ・メールニュースの配信
メールニュースを配信し、会員に情報提供を行う。
- ・ホームページの管理
会員サービスの一環とし、今まで以上のホームページ掲載内容の充実を図り、迅速な対応をめざす。

2-5. 事務局（事務局統括理事）

1) 事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の整備を進める。

2) 展示会出展における広報活動

各地域での展示会出展において安定した広報活動を図るため、出展ブース担当の理事および事務局の派遣旅費を確保したい。

3. 後援・協賛事業

後援・協賛予定事業（主催団体と内容）は下記のとおりである。

No.		団体名	開催日程	内容
1	協力	高知福祉機器展実行委員会・生き生きサポートセンターうえるば高知・社会福祉法人高知県社会福祉協議会	2015/7/3～5	第14回高知福祉機器展 バリアフリーフェスティバル
2	<u>後援</u>	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2015/7/5	福祉用具プランナー研究ネットワーク第一回研究大会
3	協賛	バイオメカニズム学会	2015/7/24～26	第24回バイオメカニズム・シンポジウム
4	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2015/7/24～25	ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2015
5	後援	広島国際大学	2015/7/25～26	2015年度広島国際大学健康フェア
6	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2015/9/1～4	ヒューマンインタフェースシンポジウム2015
7	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2015/9/2～4	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2015 (LE2015)
8	<u>後援</u>	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2015/9/12	ケアリフォームシステム研究会 全国大会in大阪
9	後援	バイオフィリア リハビリテーション学会	2015/10/24～25	第19回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
10	協賛	西日本国際福祉機器展実行委員会	2015/10/29～31	P. P. C. 2015第17回西日本国際福祉機器展
11	協賛	バイオメカニズム学会	2015/11/28～29	第36回バイオメカニズム学術講演会
12	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2015/12/14～16	第16回SICEシステムインテグレーション部門講演会
13	後援	川村義肢株式会社・社会福祉法人日本介助犬協会・大東市総合文化センター	2015/12/16～19	介助犬のひろばin大東2015
14	協賛	特定非営利活動法人モバイル学会	2016/3/10～11	シンポジウム「モバイル`16」

(下線は新規)

(以降、随時追加)